NPOとボランティアの専門的なセクションを

小林　幸子　議員

〈質問〉

市長はこれまで、数多くの市民の方々と市民協働のまちづくりを推進してこられたが、他の自治体を見ると、NPO活動推進係、ボランティア推進係等々、具体的なセクションを置いている。NPO活動に関する相談、立ち上げ、またボランティア推進に対しての適切なアドバイスができる専門的なセクションを設置していただきたい。

〈市長〉

NPO設立支援に関しては、県に認証申請手続等を支援するNPOアドバイザーを派遣する事業があるので、県との連携をさらに効果的に進め、それぞれの事業の目的や内容の充実を図ってまいりたい。ボランティア活動については、大変広範かつ専門的な面もあり、一つの担当課で対応するには限界があるので、その活動の実態に鑑み、それぞれの所管課が担当することになるが、案内窓口については、一元化をしてまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

二　本市における農業政策について

安心で安全な街づくりにおける防犯灯の考え方は

中田　正広　議員

〈質問〉

防犯灯について、市内全域を見渡すと、住宅地内は各地域の皆さん、また市の協力のもと大分設置され、明るくなってきたと思うが、地域間のはざまの地域又は都市計画道路で建設された道路は未だに暗いという現状がある。安心で安全なまちづくりというテーマから、防犯灯に対してどのような考え方なのか伺う。

〈市民生活部長〉

町内のはざまの暗がりを解消する方策は、特例措置として、補助金の増額をしている。また、道路構造令による道路照明の設置基準以外の都市計画道路等については、道路管理者や関係部課と検討をしていく。防犯灯に関わる補助制度は、防犯灯の設置場所の設定や円滑な維持管理を図ることにより、住民の自治意識及び防犯意識の高揚に役立っているものと受け止めているので、現行の制度を維持してまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

二　土浦・新治市村合併における最大効果を求める質問

下水道使用料の基本料金是正について

古沢　喜幸　議員

〈質問〉

市長の英断により、水道料金のうち基本料金是正の方向が明確になった。それならば、下水道使用料の基本料金はどうなのか、現状のままで整合性がとれるのか、日本一住みやすいまちとなるため矛盾はないのかという疑問は当然起きてくる。この点について市長の見解を伺う。

〈市長〉

下水道使用料は、下水道事業の安定化を図るため、資本費等の固定経費の一部を賄う基本使用料と、基本水量を超えて使用した汚水の量に応じていただく従量使用料から成り立っている。独立採算性が原則の下水道特別会計において、現在のように一般会計からの繰入金が多額な状況の中で、基本料金の改正をすることは、使用料の減収を招き、繰入金を増大させることになるので、当面改正の環境にはないものと考えている。

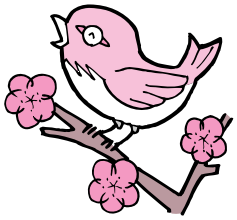
（掲載以外の質問事項）

二　土浦公共幹線の有収水量による汚水量カウントのメリット

三　常態化している高落札率入札への対応策について

四　国勢調査について

五　水道事業



北地区再開発の進行状況と中心市街地の今後は

小坂　博　議員

〈質問〉

土浦駅北地区市街地再開発事業については、市立図書館を含む公共施設棟と住宅棟の整備を予定されているが、開発の今後のスケジュール、進み具合を伺いたい。そして北地区開発のその後の、中心市街地に対する考え方について伺いたい。

〈都市整備部長〉

土浦駅北地区市街地再開発事業の状況については、今年度は推進計画を策定し、平成十八年度に都市計画決定、平成十九年度には施設の設計、さらに平成二十年度に工事に着手し、二十一年度の二ヶ年

次回の定例会日程　3月7日～22日（一般質問 13日・14日・15日）